

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土) Bブロック 1回戦 鐘山スポーツセンター総合体育館 Cコート 第1試合

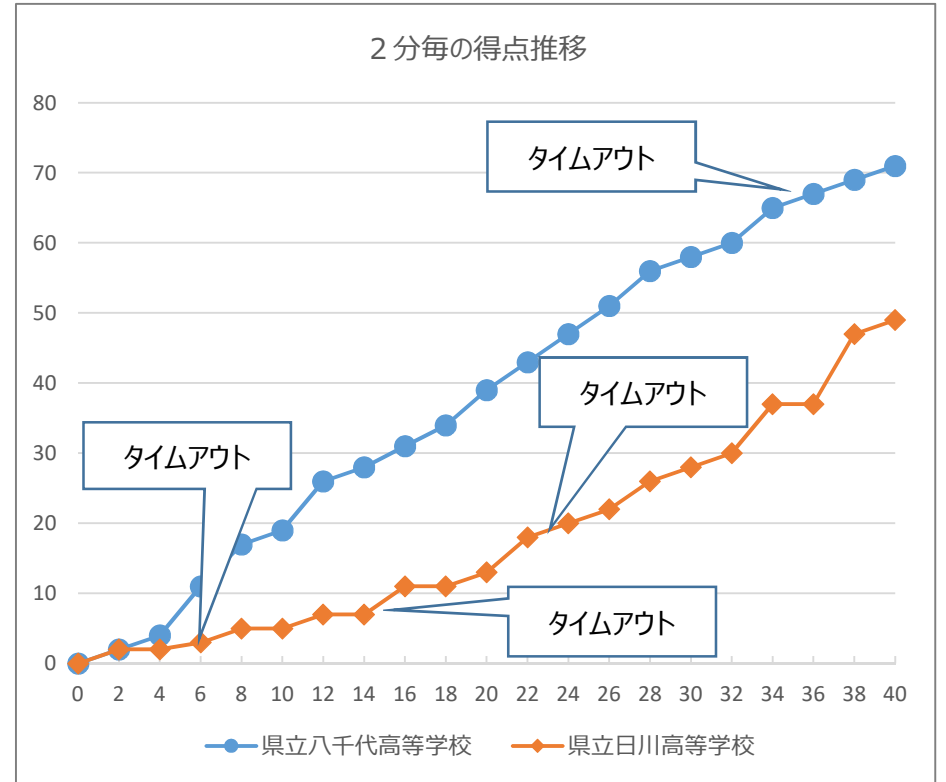
チームA		19	1st	5	49	チームB
県立八千代高等学校 (千葉県)	71	20	2nd	8		県立日川高等学校 (山梨県)
		19	3rd	15		
		13	4th	21		
		OT				

Aチーム： 県立八千代高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	松岡 里樹	2	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2
2	*	5	阿部 颯太	2	0	4	1	1	0	0	1	0	3	3
3	*	6	新井 理久	5	1	5	1	7	0	0	1	1	1	2
4		7	安部 大毅	12	0	0	5	10	2	2	2	4	4	8
5		8	富田 祥希	7	0	0	3	3	1	2	1	2	6	8
6		9	蓬田 一星	9	1	6	3	6	0	1	1	0	2	2
7	*	10	松下 真也	11	3	5	1	2	0	2	1	0	2	2
8		11	酒井 郁志	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
9		12	渡辺 昂暉	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1
10		13	浅野 海斗	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
11		14	下田 嶺多	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
12	*	15	坂田 空	2	0	0	1	4	0	0	2	1	4	5
13		16	品川 陽平	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1	1
14		17	宮原 峻祐	11	0	4	5	8	1	1	0	1	1	2
15		18	金子 紘弥	8	0	0	4	4	0	0	3	1	5	6
HC/TEAM				藤橋 洋輔										12
合計				71	5	26	26	53	4	8	16	12	35	59

Bチーム： 県立日川高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	岩井 吏都	8	0	1	4	8	0	0	1	0	3	3
2		5	前島 心平	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3	*	6	加々美 玲夢	7	1	1	2	4	0	1	0	0	2	2
4	*	7	山田 光哉	20	0	0	7	16	6	8	1	3	3	6
5	*	8	三浦 涼聖	5	1	2	1	2	0	0	0	0	3	3
6		9	樋口 広大	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
7		10	河野 光太	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0
8		11	山田 峻	2	0	1	1	1	0	1	0	0	2	2
9		12	山辺 悠介	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
10	*	13	渡辺 和	2	0	3	1	4	0	2	0	1	4	5
11		14	村中 亮太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		15	藤井 一史	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
13		16	小池 崇士	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
14		17	藤崎 郁海	0	0	3	0	2	0	3	2	0	2	2
15		18	古田 大也	0	0	2	0	0	0	0	3	0	2	2
HC/TEAM				古田 厚司										7
合計				49	2	15	18	40	7	16	9	5	23	35



戦評

記者者：吉川 仁 (山梨県高体連)

両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。
 県立日川#7のジャンプショットで先制点を奪う。動きの固い八千代は開始1分半でオールメンバーチェンジ。この交代をきっかけに#7のアップ、#8のゴール下、#10の3Pで3連続7得点。一方、県立日川は、苦しい時間を脱出すべく試行錯誤をするが、流れを掴みきれず1Qを5-19で終える。
 力強く飛び込みオフェンスリバウンドを量産する八千代。これが縁の下の力持ちとなり#9、#6、#10が3Pなどで得点差を広げる。苦しい時間が続く県立日川は、#11のバスケットカウントを皮切りに果敢に挑むが、リングに嫌われ、前半を13-39で終了。
 後半も八千代が優位に試合を進めるが、県立日川も#8の3Pや#7が反撃。その後もゾーンを織り交ぜながら更なる反撃の糸口を探り、少しずつ流れを掴みはじめ、#4、#9が得点を重ねる。28-58八千代リードで3Qを終える。なんとか点差を縮めたい県立日川激しいディフェンスから#6の3Pなどで得点。最後まで粘りを見せるが、49-71で八千代が勝利し、2回戦への駒を進めた。

主審	第1副審	第2副審
山岡 忠 (神奈川県)	穂川 苑子 (群馬県)	薄井 基 (茨城県)